

熊取町 KUMATORI CHO

江戸時代の茅葺き民家が音楽ホールに! 音楽から賑わいを!

熊取町は、大阪府の南部・泉南郡にあって関西国際空港のある泉佐野市の東隣に位置しています。歴史も古く、804年（延暦23）『日本後紀』に桓武天皇が熊取で狩猟した記述があります。また、町内には国の重要文化財である来迎寺本堂（鎌倉後期）、らいごう じほんどう、ふるい けしよいん 降井家書院（江戸初期）、国の近代化産業遺産煉瓦館（昭和初期）などの歴史的建造物が残っています。

今回は江戸初期に建てられ、幕末に吉田松陰も訪れた重要文化財中家住宅とそこで行われる音楽コンサートについてご紹介します。

中家住宅は、江戸時代、岸和田藩の七人庄屋をつとめた中家の建物で、茅葺きの主屋と表門・唐門を今も見ることができます。平安時代には、後白河法皇が熊野詣の際に立ち寄り、あんぐう 行宮（仮設の御所）としたという伝承があり、平成9年から町施設として一般公開しています。



中家住宅

コンサートは、主屋の土間と板の間を活用して行います。能舞台を思わせる板の間がステージ、土間は約100名ほどが収容できる客席になります。ここでは、これまでにクラシックやポップス、中国音楽、津軽三味線などのコンサートを開催してきました。

今後は、音楽の発表の場として町内外を問わず、アマチュアの音楽家に中家住宅を提供し、手づくりコンサート（ハワイアン、ポップスなど）を行って



いく予定です。

また、毎年中秋の名月の頃に恒例で行っている観月コンサート（今年は9月11日にジャズコンサートを開催しました）や、昨年からは中家住宅のライトアップとあわせてコンサートを行っており、今年は10月15日（土）午後7時から、そうきょく 箏曲（箏＝「こと」）のコンサートを予定しています。

是非この機会に、400年前の建物の歴史を感じながら、一味違う雰囲気の中で音楽を楽しんでみませんか。ご来場をお待ちしています。

● お問い合わせ先 ●

熊取町教育委員会事務局生涯学習推進課
（煉瓦館内）

TEL：072-453-0391